令和 ２ 年
１０ 月１２日

ふれあい通信

第 １ ８ 号

夕暮れ時の交通事故防止

① 薄暮時間帯に 交通事故が多発！

平成 27 年から令和元年の５年間における全国の死亡事故発生状況を分析したところ、

- 「薄暮時間帯」に多く発生している
- 自動車と横断中の歩行者が衝突する事故が９割を占めている
- 横断歩道以外での事故が約８割で、そのうち約７割に歩行者側にも違反がある

ということが明らかとなりました。

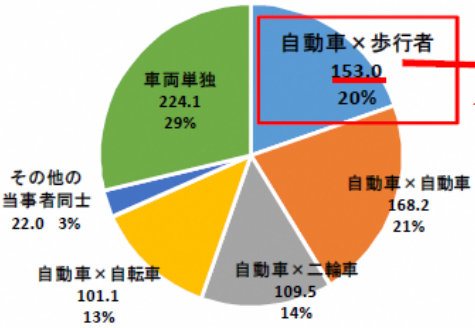
全国 当事者別の時間当たり死亡事故件数（平成27年～令和元年）

薄暮時間帯に交通事故はすごく増えるのじゃのう！自分は気をつけとるつもりじゃが・・・

秋からは急に日の入りが早くなるので、視界が悪くなり見えにくくなります。

これからの時期はとくに自分の存在を周りに知らせる工夫をしてください。

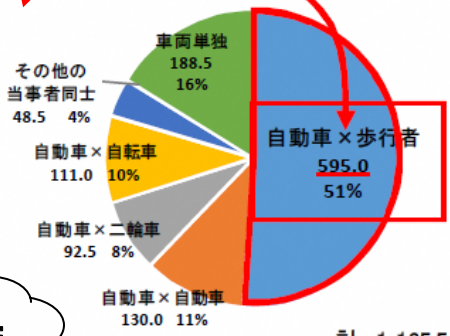
【昼　　間(薄暮時間帯を除く)】



計　777.8(件)

約４倍

【薄暮時間帯】



計　1,165.5(件)

存在を知らせるにはどうしたらよいのじゃ？

次のページへ

（注）・「薄暮時間帯」とは、日没時刻の前後1時間をいう（日没時刻は、各日の各都道府県の都道府県庁所在地（北海道は各方面本部所在地を含む。）の国立天文台天文情報センター暦計算室の計算による日の入り時刻による。）。以下同じ。

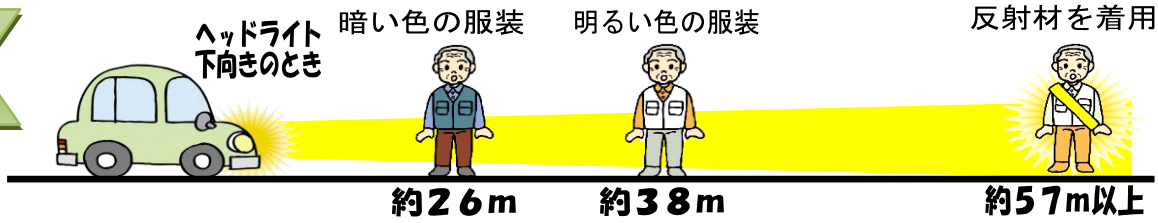
滋賀県大津の【日の入り】時刻

10/1　午後5時41分	11/1　午後5時02分	12/1　午後4時45分

② 夕暮れ時、夜間は必ず「反射材の着用」

～自分の命を守るために…「見せる」工夫をしましょう～

車からの見え方の違い



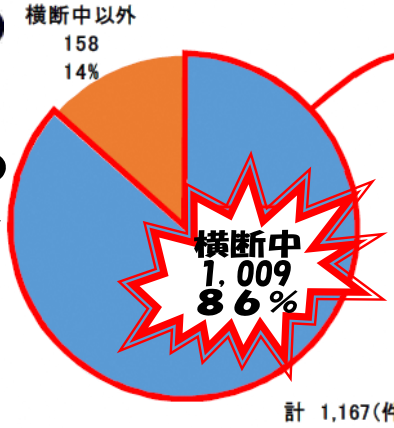
歩行者や自転車利用者は、「車は急に止まれない」ということを認識し、夕暮れ夜間はドライバーなどから発見されやすいよう、次のようにしましょう。

- 白などの明るい色の服装を着用する
- かばんや靴、自転車や電動車いすなどに反射材をつける
- 懐中電灯を携帯する

③ 横断歩道以外での横断中の発生が約８割！！

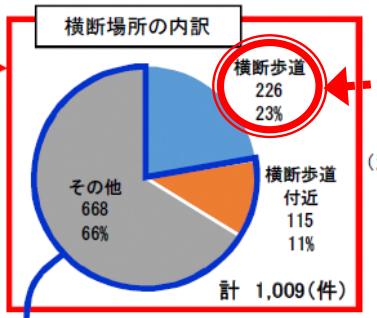
薄暮時間帯における「自動車対歩行者」の事故類型別死亡事故件数
（平成27年～令和元年）

横断中の事故が約９割！



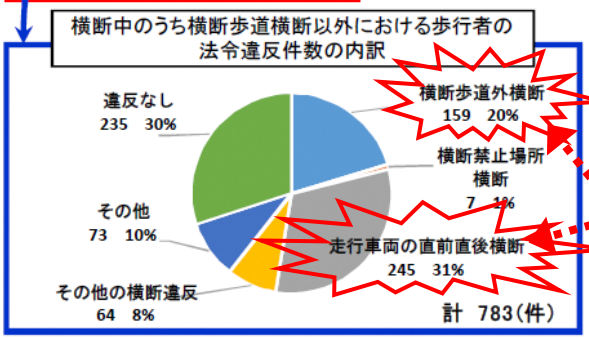
（注）・道路形状の「一般交通の場所」を除いた件数
・横断中以外は、対面通行中、背面通行中、路上作業中等

近くに横断歩道がある場合は横断歩道を利用しましょう！



横断歩道利用は２割だけ！

（注）・「横断歩道付近」は、横断歩道の側端からおおむね30メートル以内
・「その他」は、横断歩道、横断歩道付近等以外

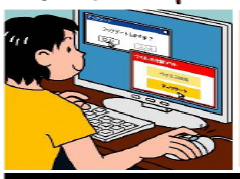


歩行者の違反が目立ちます！

（注）・「その他の横断違反」は、「斜め横断」、「駐停車車両の直前直後横断」
・「その他」は、「飛出し」、「酩酊等」等

パソコンのサポート費用を要求するサポート詐欺に注意！

警告音やウイルス感染を警告する画面が表示される ➡ **閲覧している者を焦らせる!!**
サポート窓口(ウソ!)などと連絡先が表示される ➡ **正規の窓口と誤信させ電話させる!!**



- ○ 絶対に表示されている連絡先に電話することはやめましょう
- ○ 画面を閉じ、パソコンを切りましょう
- ○ 購入店やメーカーの窓口、家族に相談しましょう

犯人は言葉巧みにサポート費用等として電子マネーの購入等を要求してきます

Check!

家族や知り合いに高齢の方がおられたら、教えてあげてください！

施設の窓口に掲示するなど、必要な方々にご覧いただけるようご協力ください。

滋賀県警察本部交通企画課 高齢者交通安全推進室 ふれあいチーム
TEL 077-522-1231（代表） Eメール x0022@police.pref.shiga.jp